

超域芸術論特講Ⅱ

選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

「特講Ⅰ」に引き続き、18世紀以降ヨーロッパの自信回復とともに確立するヨーロッパ中心の美学を適宜参照しながら、日本人の審美観に焦点をあてる。毎回、400字程度のレポートを提出してもらいます。

2. 授業の到達目標

異文化間の芸術受容のあり方を検証し、芸術の超域性および異文化について理解を深める。異文化の理解ならびに表現の特徴を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点。

4. 教科書・参考文献

教科書

岡倉天心 『茶の本』 岩波文庫

参考文献

鈴木大拙 『禅と日本文化』 岩波新書

5. 準備学修の内容

毎回で指定された課題について調べ、次回までにレポートを作成する。

6. その他履修上の注意事項

学部『セミナーⅡ』と合併授業になる予定です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンスおよび春期授業のまとめ。 |
| 【第2回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第3回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第4回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第5回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第6回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第7回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第8回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第9回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第10回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第11回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第12回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第13回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第14回】 | 前回の作業項目の説明および質疑応答。次回の準備。 |
| 【第15回】 | まとめ。 |